

TRAVEL TRAILER

ROOF TENT

PICK-UP CABIN

CAB CONVERSION



四駆もオートキャンプもいっぺんに楽しめる

高機動4×4 キャンピングの ススメ

サマーシーズン直前
キャンパー特集

クルマに積み込んできたテントを張る、いつものキャンプとはひと味もふた味もちがう、もうひとつのスタイルがキャンパーを利用した、“ホンモノ”のオートキャンプだ。さらに、キャンパーにもいろんなスタイル、タイプがあるけれど四駆と組み合わせて考えると、その機動力や楽しさは倍増するのだ。そして、忘れちゃいけないのが、四駆そのものを楽しめるスタイルであること。名付けて“高機動4×4キャンピング”だ。四駆と相性の良いキャンパースタイルを追い求めていけば、どっちもいっぺんに楽しめてしまうスタイルが見つかるはずだ。

文/大坪義孝



キャンパーの特徴を理解すると 四駆にぴったりのスタイルが見つかる

●フルコンバージョン

スペシャルな専用ポディーをまるごと架装

通称「フルコン」。アメリカではクラスAと呼ばれるタイプ。いわゆる「モーターホーム」だ。フレームにエンジンや駆動系部品が取り付けられた架装用の「ベースシャーシー」をベースに、架装メーカーがキャンピング部分を丸ごと製作したキャンピングカー。ほとんどは北米や欧州からの輸入車で、居住性重視の性格上、全長7m以上の大型車が一般的。居住設備は「走る家」と言えるほど充実している。

●キャブコンバージョン ▶▶4×4ベースあり!

キャブ付きシャーシーに居住区画を架装

架装用に自動車メーカーが供給するキャブ(運転席までのポディー)付きシャーシーをベースとして、後部に居住区画のポディーを架装したタイプ。北米ではクラスCと呼ばれ、日本ではトラックをベースとして製作されるものが多い。数は少ないものの4×4のピックアップやSUVなどをベース車としたものもある。全長5m以下のコンパクトなサイズも多く、専用製作された居住スペースは生活に必要な機能を備えている。

●トラベルコンバージョン

ワゴンやミニバンの車内を改造したお手軽版

ワンボックスワゴンやミニバンなどをベースに、車内を改造したタイプ。日本では「バンコン」などと称されることもあり、北米ではクラスBと呼ばれている。乗用シートを利用したベッド、簡単なコンロやシンクなどの設備を備え、中にはハイルーフ仕様やポップアップルーフなどで居住空間を拡大したものも。日常での利用も可能で、機動性の高いキャンピングカーといえる。SUVのキャンパーキットなどもこの一環に属する。

●バスコンバージョン

大きく安心感のあるポディーを活かす

トラベルコンバージョンの大型版とも言える。通称「バスコン」。マイクロバスや小型バスをベースとして内装をキャンピング仕様で架装したものが主流となる。ミニバンなどよりはるかに余裕のあるキャンピングを過ごし、ノーマルポディーでも優れた居住性を持つのが特徴で、十分な居住設備を備えることが可能。インテリアをDIYで製作する自作派も多く見られるタイプだ。

アップにキャンパーユニットを搭載する「ピックアップキャビン」は多くの可能性とメリットを持ったキャンパースタイルだ。また、4×4を手軽に「キャンパー化」するひとつの手段として、ルーフテントも注目のカテゴリーだ。車種を選ばないが、高く大きなルーフを持つSUVは、ルーフテントを載せるのに最適な車種といえる。

●トラベルトレーラー ▶▶4×4で牽こう!

バラエティー豊富な被牽引式キャンパー

被牽引装置を持ったシャーシー(フレーム+車軸)の上に、居住設備を備えたキャンピング車を架装したキャンピングカーが、トラベルトレーラー。「キャンピングトレーラー」と呼ぶこともある。サイズや内装など非常にバラエティー豊富な点や、トレーラーをキャンプ場などに置いたまま、牽引車のみで移動できる点が大きなメリット。非力な乗用車に比べてトルクのある4×4は牽引に適し、牽けるトレーラーの範囲も広がる。

●ピックアップキャビン ▶▶4×4に載せよう!

ピックアップベースでいいとこ取り

ピックアップトラックの上に載せて使用するキャンピング・ユニット。設備規模や居住性は、キャブコンバージョンタイプのもの、ひとまわりコンパクトにした印象だ。ジャッキなどを備え、ベース車両(積載率)と切り離すことができるのも大きな特徴。トラベルトレーラーとキャブコンバージョンのメリットを、必要に応じて使い分けることができる。「トラックキャンパー(トラキャン)」「ピックアップシェル」という俗称もある。

●ルーフテント ▶▶4×4に付けよう!

脱着可能なポップアップテント

樹脂製のシェルや耐候性シートなどでカバーされたテントをクルマのルーフに据え付け、停車時に展開してすぐ使えるようにしたもの。樹脂製シェルのものは上部シェルがそのまま居住部分の屋根になる。必要に応じて脱着や買い替えが可能なのもメリット。SUVやワンボックスの「ポップアップルーフ」は、これをルーフに組み込んだもの。ルーフが広くポディーが頑丈なSUVは、ルーフテントを搭載するのに適している。

CAMPING STYLE SELECT

4×4と相性の良い キャンパースタイルとは

キャンパーと呼ばれるものにはいくつかのタイプがある
四駆の持つメリットを活かし、四駆もキャンプも楽しめるのは
どんなスタイルかをちょっと研究してみよう

文/大坪義孝

注目はピックアップキャビン
ルーフテント、そしてトレーラー
キャンパーには大きく分けて自走式と牽引式がある。自走式といわれる「キャンピングカー」は改造して居住空間、あるいは就寝空間を設けたものだ。この中にもいくつかの種類があるが、キャブコンバージョンの一部にピックアップ、SUVをベースとしたものがあるものの、4×4をベースとした



四駆もキャンプも最大限楽しむためのキャンパー選び

マジジョリーナ グランドツアー カップル

全長×全幅:2,100mm×1,300mm / 全高:360mm(収納時) ~ 960mm(展開時)
 重量:56kg / 就寝定員:2名 / 素材:シェル=FRP、アウター部=ORALON(乾式アクリル) / 付属品:システムキャリア用取り付け金具×4(キッドフィックス標準タイプ付)、補助用ハンドル×1、マットレス×1、枕×2、室内灯×1、ポケット小物入れ×2、伸縮式アルミラダー×1

価格:325,500円



性を大きく損なうことはない。今回取材した2名就寝用の「マジジョリーナ グランドツアー カップル」なら重量56kg、市街地や高速道路などを走った印象では、ロールの増大などを感ずる場面はほとんどなく、風切り音も抑えられ、その存在を忘れそうなるほど。ただし、ベースキャリアを含めて約50cmほどの車高増加には注意したい。

最大の利点は「思い立ったらすぐ寝られること」だ。必要なスペースはクルマ1台分。前後のバックゲルを外し、付属のクランクをクルクル回すだけで1分以内で展開可能。高さ1m弱、大人2名が寝られる二層ほどの空間が出現する。ほかにも4名就寝までのサイズ違いやルーフラックの有無など、バリエーションも豊富に揃っている。

付属のラダーを掛けて「屋根上の寝室」に上ると、そこはちょっとした秘密基地。空間、頑丈に作られたフロアと全面に敷かれたマットレスのおかげで厚心地寝心地も良く、高い場所だから風通しも眺めもよし。左右にドアカーテン付きの大きな開口部を、前後に三角の小窓を備えているので、意外に開放感が高いのだ。

車室内にキャンブ道具を満載していても就寝スペースは確保できるし、普通のテントと違って地面のコンディショニングに影響されることもない。そして、「屋根上」に寝る快感は、ルーフトентでしか得られない最大のポイントなのだ。



付属のクランクハンドルを差し込んで、クルクルと回すだけ。しかも1分とかならずに展開できてしまうスピードさがジファーツェントの美点だ。少々悪天候でも素早く寝る、寝返が可能だ。



一見、大型ルーフボックスのような格納状態のルーフトент。風切り音も抑えられ、走りを大きくスポイルすることはない。シュラフなどの寝具はもちろん、走行時の収納スペースとしても活用できる。



ドアカーテンは上部からもジッパーで開くため、このように半開き状態にするなど、状況に応じてさまざまな展開が可能。就寝時の換気や日陰などにはうれしい機能だ。



入り口は両側に設けられている。ドアカーテンの内側には写真のように防虫ネットを装備。開口部が大きいので非常に風通しが良く、快適だ。ドアカーテン、防虫ネットともジッパー&ロールアップ式。



テント前後に設けられた三角の小窓にも防虫ネットを備える。天井部には室内灯も装備(車内常時電源部に接続が必要)され、天井部分に引っ掛けて使える便利なポケット式小物入れも付属。



フロア全面サイズのマットレスと、枕4個、マットレスは簡単に外れるので、シーツの敷き込みや清掃、天日干ひなども楽に行える。二人用とは言え、ベッドスペースとしては充分すぎる空間だ。

ROOF TENT

屋根に“寝室”を載せれば 愛車がキャンパーに変身

設営が簡単なFRPシェルのテントをルーフ上に搭載すると、アラ不思議それだけで普段使いの4x4もキャンパーに早変わりしてしまうのだ。“屋根上の寝室”は手軽さはもちろん、さまざまなメリットを持っている

文/大塚義孝 取材協力/なごみキャンプ場

停めた場所ですぐ寝られる素早さ&簡単さが大きな魅力。クルマに大きな改造を施したり、広大な駐車スペースを必要とすることなく、屋根上に搭載するだけで愛車を「快適キャンパー」化できるのが、ルーフトtentだ。

屋根・フロア部分をFRP、サイドのテント部分を撥水性・耐候性・通気性も備える乾式アクリル生地としたテントユニットは、格納状態ではルーフボックスのようなルックス。見た目の印象より軽量で、搭載状態でもクルマの機動



International Car Tents For People
Who Love Travelling In Complete Freedom

AUTOHOME

THE ORIGINAL RANGE OF VEHICLE ROOF TOP TENTS

MAGGIOLINA

バリダカラリーでも使用された実績もあり、
外装にはFRP製のハードカバーを用い強度があります。
展開・収納は付属のハンドルで簡単にでき、
寝袋や毛布などならテント内に収納可能。
また、積みきれない荷物は、テントに設けられたルーフラックに積むこともできます。



COLUMBUS

一目見て感じる自由・冒険心・独創的なイメージ。
コロムブスを使えば、週末や休日の旅がより楽しいものとなるでしょう。

OVERCAMP

オーバーキャンプの発想は、
人々が自然に帰るために
昔ながらに楽しんできた
キャンプという伝統から生まれています。



OVERLAND

オーバーランドの全てを知ったとき、
それは大きな驚きとなるでしょう。
これは、経験豊かな旅人達の要求を満たすために開発された製品です。

お問い合わせ先

ZIFER日本総代理店：ジファー・ジャパン

TEL.03-3231-8594 FAX.03-3270-8560 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-4-4 JPビル11F 小倉貿易

※各エリア取扱販売店、"ZIFER"適用車種やオプションなどのお問い合わせは、ジファー・ジャパンまでご連絡下さい。

NEW <http://www.ziferjapan.com> WILD-1各店舗にて販売開始しました。

ジファー・ジャパン

検索
クリック!